

日蓮宗 常栄山 本照寺だより

本照寺 檀信徒の皆さま

明けまして おめでとうございます

中央に住職・須藤教裕。左に長男・副住職・須藤貴裕と長女・燈（10カ月）。右に須藤由子と長男・慧磨（2歳1カ月）。本年もよろしくお願いいたします。



朝の詩

秋海を見に

栃木県小山市
渡辺陽子 71

さらさら 指をこぼれて積もる砂の鼓動
ひと握りの砂山を浚いながら 裸足裏をくすぐる 戻り波 羊水と同じ成分を持つ 海よ母に会うように 会いに来ました

お世話を

かけました

東京都板橋区
内田 毅 55

墓参りに行く途中 亡き父母に かける言葉を ふと思う
「お世話になりました」かな
いや違う
「お世話をかけました」だ

内田 毅 55

ひびの入った睡蓮鉢に 毎朝 漏れたぶんの水を たすいとも適度に きれいな水を スズメや猫が 飲みに来る
ひびが 水を生き 生きさせる ひびが スズメや猫を 生き生き生かす

ひび
東京都板橋区

ひらたい心
埼玉県ふじみ野市
酒見真弓 49

私が「私」を
和歌山市
竹田千尋 33

平たい心を持った 平たい人になりた いとがった所を トンテンカンテン ちぢんだ所を トンテンチンチン ねじれた所は 逆回 しかたい所は マツサージして 強いでも弱いでも ない 平たい心 そんな私になりた いな

「お前の代わりなんて いくらでもいる」
私の価値はそんなもの 道ばたに咲いて 花の方がよっぽど 誇らしげに見える
「私の代わりなんていくらでもいる」
けれど 私「私」を 認めなくてどうする？ 誰に誉められなくても ひっそりと 咲いていたらいんだ
(産経新聞から)

【本書は戦前、戦中、戦後という過酷な時代を生きぬいた

■中丸武夫さんは、厚木市水引に住む「郷土史研究家」です。本照寺へ大勢を連れて見聞に来たこともあり、その打ち合わせで知り合いとなりました。中丸さんは、神奈川検定ライセンス3級認定。鎌倉観光文化検定3級認定。あつぎ観光ガイド協会会員との立場にあり、この2月には87歳になられますが、現役として活躍中です。この度は、中丸武夫さんの2冊の本から、2つの話を紹介したいと思います。ですが、始めに、「子供たちの昭和史」から「あとがき」の一部を紹介いたします。

あとがき

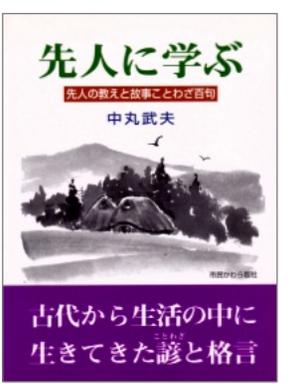
飛行場滑走路の草刈り作業

第72号
厚木市下古沢133
TEL・046-247-1156
FAX・046-247-1156
振替・0230-7-35749
(加入者名・本照寺)
発行所
本照寺・須藤教裕
携帯090-9151-6438



飛行場滑走路の草刈り作業
昭和十五年（一九四〇）夏、中津村と依知村にまたがる広大な農地に、相模陸軍飛行場が出来ました。通称「中津飛行場」といわれ、現在の内陸工業団地のところ。この飛行場は特攻隊員養成の飛行場で、陸軍の戦闘機「疾風」が飛び立っていました。南から北の滑走路に生える草が伸びてくると、飛行機の車輪にからまるので、この草を刈る作業に駆り出されます。
小学生と中学生が横一列に並んで、目の前の草を刈り進んで飛行場の北の端にある、現在の愛川町役場付近までの三〜四キロを二日に刈る作業です。北の端に着いて作業が終わると、兵隊さんから茶色をした握り飯を一個いただき食べた思い出があります。
私は四年生の頃、この作業に二回ほど参加しました。辛い作業でしたが、飛行機や格納庫が見れるという珍しさもあって、作業に精を出しました。
終戦後の伝えによると、この飛行場の操縦課程を終了した藤山恒彰兵長が、昭和二十年（一九四五）三月二十五日に出撃、終戦直前の五月二十五日、沖縄方面で戦死したと聞きました。戦争は二度と繰り返さないと言いました。

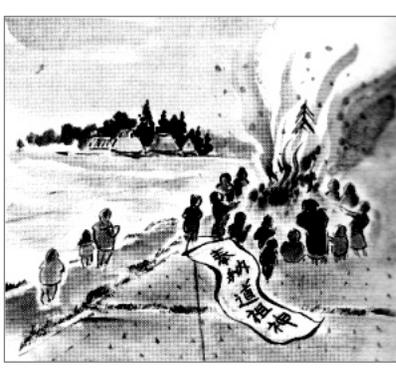
どんど焼きの伝え



■厚木市では今も「だんど」をつくり、団子焼きが行われています。小正月の14日に行われてきた「団子焼き」は、古くは左義長といわれ、宮中行事でした。（中略）だんど焼きは、子どもたちが正月の門松、お飾り、書き初め、ダルマなどを集めて、子どもの行事として毎年行われてきました。場所は悪霊や災難などが村の中に入ってこないように守る道祖神、また賽の神などが祀られる場所で、村境や辻、峠などの広場で多く行われていました。

【2冊の本にご興味のある方は「市民かわら版社」または有隣堂へ】

「戦争の足跡」「戦後の復興」など、自らの体験をもとづいて、まとめたものです（編集注・右挿絵は中丸さんの描画）



■道祖神は厚木市街には百六十体ほどあるといわれ、行事はかなり古くから地域に根ざしており、庶民の無事、健康、豊作、繁栄を多くの人の思いにより祈られてきました。
焼いただんどを食べると風邪を引かない、虫歯にならないとか、半紙に「奉納道祖神」と自分の名を筆字で書いて竹の先につけ、燃えながら高く舞い上がると字が上手になるという言い伝えがあります。これも若人の成長を願う昔ながらの心の伝えでしょう。
■厚木市内では15日の成人の日（現在は1月の第2月曜日）に、各自治会が中心となつてだんどを作り、各地や相模川、中津川、小鮎川や三川合流点の河原でどんど焼きが行われ、多数の人が参加して今でも歴史が守られています。

『法名字彫』『ご埋葬』は
イシックスにお任せ下さい
字彫り 35,000円 税別
埋葬料 10,000円 税別
清瀬・保石メソ・香炉彫交授 (5000円) 金納付
お墓 100
寺院墓地・墓石のついでに百年
本照寺様 出入り石材店
株式会社イシックス
0120-011140
isix.jp

法華経・法師品第10に、「願生人・がんしようにん」との言葉がある。これは、願って生まれる人と読む。そう、法華経は、「あなたは自ら願って生まれてきた」と、説くのだが……さて、身体に障害のある子供を持つ親は、これをどのように受け止めたらよいのだろうか。障害のある人も、はたして願って生まれてきたのだろうか……

一本のローソク

東井義雄 著
 明治45年、兵庫県、浄土真宗・東光寺に生まれる。東光寺住職であり教育者。多数の著書。

ひとりです」と記している。そして一人の知的障害を持った中学生の詩を紹介している。

私は一本のローソクです
 もえつきてしまふまでに
 なにかひとつ いいことがしたい
 人の心に 喜びの灯をともし
 てから 死にたい



■彼は勉強はできないが、何か一ついいことをしたいと頑張っている。

10代の君たちへ
 自分を育てるのは自分
 自分が自分の主人公。
 自分を立派に育てていく責任者。

坊主頭にされた当初、冬の頃の寒さに苦しみました。今では、屋内でも帽子を着用して乗り切っています。そんな経験から、就寝時の帽子の選び方を紹介します。

①暖かい
 寒さを防ぐため、暖かさは必須です。ある程度の厚さがあるものが望ましいです。

②ゆとりあるサイズ
 長時間着用するため、血行が悪くなるキツイサイズはオススメできません。ゆったりかぶ

坊主頭が寒くて眠れない人の帽子

副住職のコーナー



平坦 後・側頭部の段差は寝心地を悪くしてしま

④通気性がある
 蒸れた頭皮を放置すると雑菌が繁殖します。汗を蒸発できるような十分な通気性を確保したいです。

⑤後・側頭部が

③頭皮へ低刺激
 特に、帽子が頭皮に直接当たると、髪は頭皮が重要で、剃髪後は頭皮が敏感な状態なので、綿など頭皮への刺激の少ない素材が望ましいです。



後・側頭部の段差をなくすために、就寝時は前後を逆にして使う必要があります。また、ゆつたりした形状をしていて、耳まで覆えば耳当てになります。



ロールアップワッチは、後頭部の段差をなくすために、就寝時は前後を逆にして使う必要があります。また、ゆつたりした形状をしていて、耳まで覆えば耳当てになります。

雨の日には雨の日を 悲しみには悲しみを 通さないと見えて来ない 喜びに出会わせてもらおう

脳性麻痺の少女

木村ひろ子さんは生後間もなく脳性麻痺になった。手足は左足が少し動くだけ。ものも言えない。しかも3歳で

ある中学生が下校の途中、通せんぼをした保育園の幼児に腹を立て、刺殺する事件が起きた。一度家に帰って刃物を持って引き返しての犯行。

なぜ、やめとけとブレイキがきかなかつたのか。彼は自分を自分で人殺しにした。

父が、13歳で母が亡くなった。小学校にも中学校にも行けなかった。わずかに動く左足に鉛筆を挟んで、母に字を習った。彼女の詠んだ短歌がある。

不就学なげかず左足に辞書めくり漢字暗記す雨の一日を

左足で米をといでご飯を炊き、墨をすって絵を描き、その絵を売って生計を立てた。自分のためだけに生きるなら芋虫も同じと、絵の収入から毎月身体の不自由な人のために寄付をした。彼女は言う。

「私のような女は、脳性麻痺にかからなかつたら、

私たちは眠っている間も息をしている。心臓の鼓動も自分が動かしているわけではない。

私も、死ぬほど辛いことがあっても、胸に手を当てた時、ドキドキしていたら、「辛いだろうけれどどしっか生きて欲しい」と、仏さまの願いが働いてくれた。と、考え直してほしい。私たちは自ら願う、また仏さまから願われて生きている自分であることを忘れないでほしい。最後に、東井義雄の言葉をもうひとつ。

「人間は五千通りの可能性を持って生まれてくる。死刑囚になる可能性も泥棒になる可能性もある。その五千通りの可能性から、どんな自分を取り出していくか」

口で絵を描く

「一口と足で描く芸術家協会」という団体がある。



両腕が無かったり、下半身麻痺の方々が口で絵を描く。写真、梅宮俊明さんは「私は19歳の時に自動車事故に遭いました。しかし油絵の先生と一緒に描く仲間たちとの出会いを経て口での描画を始めました」と話す。

生まれながらに手が無く、或いは事故で手を失った方々が所属する団体である。左の写真をご覧いただきたい。彼はまさに、口で絵を描いている。私は「一泊お山しゆぎよう」で、子供たちに話すことがある。「この人は口で絵を描いているね。みんなはどう思うかな? もし、学校の先生だったら、

編集後記

日常と非常 曾野綾子いわく。「海外から東京へ戻るととても静かなので、どうしてか」と思えば、なるほど、車のクラクションが鳴っていないこと。片やイタリアや中国では常に鳴っていること。なるほどである。さて、ドライブレコーダーが売れている。高速道路の上の「あおり運転」から両親の死亡事故が切っ掛けとなったようだ。思えば30年ほど前は、一般道でも前に遅い車がいたら必ず追い越したものだ。しかし、今はそんなことは全くなし。追いつかれない。日常的に起こっていることは、気にも留めないのだが、今は追い越すは非常だ。逆にイタリアや中国のクラクションは日常的ゆえ、みんな平気で楽しんで鳴らし合うようだ。そう思うと日本の静かな都会は意味、怖い。■非常と言え、昔のお正月だ。ゴーストタウンよろしく、どの店も閉まっていた。だが、それが良かった。しかし今は日常と変わらぬにどの店も開店している。非日常のお正月を楽しんだ私としては、店を閉めて欲しいと常々思っていたが、ある外食チェーン店が閉店とすることを決めた。やっとな、これでお正月の非日常が少しはやってくる?

生きるというこのただごとでない尊さを知らずにすごしたであろうに、脳性麻痺にかかったおかげさまで、生きるというこの、どんなにすばらしいことかを、知らしていただきました」

全ては仏の教え

「この人たちは手が無くても一生懸命、口で絵を描いているね。みんなは恵まれて手があるんだから、がんばろうね」と言うのかな? でも、お上人は違うんだよ。この人たちは、手が無かったから、口で絵が描けるようになったんだよ」と。

さて、法華経に、「一切の法は皆これ仏法なり」との言葉があります。一切の法の「法」とは、起こり得る全てのことです。そう、起こり得ることには全てに意味があり、価値があり、不必要なものは何も無い、全ては仏さまの教えなんだよ、との意味です。

雨の日には雨の日を 悲しみには悲しみを 通さないと見えて来ない 喜びに出会わせてもらおう

とは、私が20代の頃に出会った東井義雄の言葉ですが、その心がお分かりいただけれるものと思います。そう考えると、法華経の肯定的な、いや、絶対肯定たる姿が見えて来るのです。